

## COVID-19 の影響を大いに受けたインターンシップ

### 「〇高等専門学校：キャリア支援室長」

本校では、講義などでは得られない様々な実社会や企業内での経験を積むことで、学生自身のキャリア形成を行なっていくことを目的とし、インターンシップを実施している。例年通り、本年度は、対象となる本科4年生、全120名の内、そのほとんどが参加を希望していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、開始直前までインターンシップの受け入れが未定であった学生、事前に受け入れを断られた学生、受け入れ日数を減らしてまでもご対応していただいた企業様、対面方式ではなく Web 形式でのインターンシップに切り替えられた企業様など、それぞれが感染状況を踏まえ、その対策を検討し、手探りの状態でインターンシップを実施していただいたが、その影響は計り知れないものがあった。

山口県インターンシップ推進協議会様を經由して申し込んだ学生は昨年度3名に対して、今年度は18名となり、その内15名のマッチングが取れて、インターンシップに臨むことができた。少しずつではあるが、本校のキャリア支援室だけでなく、各科の就職担当教員ならびに地域連携交流会が協働で県内企業様の情報を学生に周知している結果が数字に現れたものであると思いたい。しかし、県外企業様のインターンシップに興味を持つ学生が多いのは実情であるため、引き続き、どのようにして、県内インターンシップ先に申し込む学生を増やすかが、キャリア支援室の課題となっている。

今年のインターンシップの成果は例年と大きく異なるため、単純に比較はできないが、実情として、インターンシップが就職活動に大きく影響を与えていることは確かである。そのため、今年のインターンシップに参加を切望したが、叶わなかった学生に対する就職指導・支援の方法については、案内をいただいた Web 説明会などへの参加を促す等、その対応・対策を行なっている。

最後になりましたが、このコロナ禍の中、インターンシップを受け入れていただいた企業様、その調整を取っていただいた山口県インターンシップ推進協議会の皆様に感謝を申し上げます。